




避難支援のためのチェックリスト

緊急時にすぐ参照できるようにスマホで撮影して保存するなどしておくことをおすすめします

この度は「避難支援等実施者」としてご登録いただきありがとうございます。

下表に避難支援の取組例をお示ししますが、「避難支援等実施者」は善意に基づくボランティア的な立場です。災害時にご自身やそのご家族に危険が及ぶ場合に、無理をしてまで支援を行う法的義務（責任）を負うものではありません。

まずはご自身とご家族の安全を確保することを優先してください。

1 平常時（事前の準備）	
個別避難計画の確認と共有	<p>計画に記載された避難行動要支援者本人の身体の状態、緊急連絡先、避難先や避難経路、避難時の留意点（車椅子が必要、耳が聞こえにくい等）を把握します。</p> <p>また、本人やあなたの住む地域のハザードマップ上の災害リスク（洪水、土砂災害など）を把握します。</p>
日常的な声かけ・見守り	<p>挨拶や世間話を通じて、本人の健康状態や生活の変化を把握します。</p> 
避難訓練への参加等	<p>実際に本人と一緒に避難場所への移動訓練を実施したり地域の防災訓練への参加などを通じて、避難時の課題などを確認します。</p>
2 災害発生時又は災害発生の恐れがあるとき	
安否確認と情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> 電話や訪問により、本人の無事を確認します。 発表されている気象情報（大雨警報、土砂災害警報など）や避難情報（高齢者等避難発令など）を分かりやすく伝えます。 
避難の呼びかけ・避難場所等への移動支援	<p>高齢者等避難発令に伴い市が開設した避難所や、あらかじめ個別避難計画で決めておいた安全な場所（親戚宅など）への移動をサポートします。</p> 
緊急時の対応	<p>あなたが市外に外出中などで本人への避難支援が難しい場合や、支援中にトラブルが発生した場合の支援要請先を決めておいてください。</p> <p>（例：自主防災組織や行政区役員、民生・児童委員など）</p>
3 避難後 ※可能な範囲でのご協力をお願いします	
避難完了の報告	<p>本人が避難場所へ避難できたことを避難場所の管理者に連絡します。</p>
避難所でのサポート	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の受付を手伝ったり、本人の持病や必要なケアについて避難所の運営スタッフに伝えたりします。 声掛けなどで、本人の不安な気持ちをやわらげます。
その他（フィードバック）	<p>訓練や避難支援を実際に行ってみて、「実際に動いてみたら道が通りにくかった」「予想より時間がかかった」「こんな道具が必要と感じた」などの気づきをもとに計画をより実効性の高いものへ更新します。</p>